

2022年2月4日

住友生命保険相互会社

## アジア開発銀行が発行するヘルス・ボンドへの投資について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、アジア開発銀行（Asian Development Bank、以下「ADB」）が発行する、アジア・太平洋地域における医療環境の改善を目指すヘルス・ボンド（以下「本債券」）への投資（約100億円）を決定しました。

ADBは、豊かでインクルーシブ、災害等に対しても強靱で、持続可能なアジア・太平洋地域の実現を目指す多国間開発金融機関であり、貧困の撲滅に向けた活動も続けています。68カ国が参加し、そのうち49カ国はアジア・太平洋地域の国々です。ADBは加盟諸国に対し、融資や技術援助、助成金を提供し、投資を行う役割を担っています。



©Asian Development Bank

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ\*の実現を目指すADBは、保健セクター向けの投資を拡大させ、アジア・太平洋地域すべての人々が安定した医療サービスにアクセス可能となるための支援を行っています。また、地方における基本的な医療サービスを拡充することにより地域の発展を促し、長く続く貧困問題や不平等の是正に尽力しています。

本債券により調達した資金は、発展途上の加盟国におけるパンデミックの影響を軽減するため、盤石な医療ネットワークを構築する目的に充当される予定です。具体例として、フィリピンの医療体制を強化するプロジェクトがあります。このプロジェクトでは、現地の病院での医療機器の入替えや、検査用品および個人防護用具を提供する活動が進められています。また、同国の新型コロナウイルスの検査能力を1日当たり11,000件増強するため、検査施設2カ所の建設が進められています。

\* ユニバーサル・ヘルス・カバレッジとは、すべての人々が必要な保健医療サービスを、必要なときに、負担可能な費用で享受できる状態をいいます。

### 【債券の概要】

発行体	アジア開発銀行 (Asian Development Bank)
投資金額	120百万豪ドル (約100億円)
期間	10年

住友生命は、「なくてはならない」生命保険会社の実現を目指し、事業活動を通じた SDGs の達成に向けた取組みを進めています。また、責任投資（ESG 投融資およびスチュワードシップ活動）をその主要な取組みの一つとして位置づけ、持続可能な社会の実現、および、中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、責任投資に取り組んでおり、本件への投資はその一環として行うものです。

今後も、責任投資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでいきます。

【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



以上